



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月28日

上場会社名 ヒロセ通商株式会社  
コード番号 7185 URL <https://hirose-fx.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野市 裕作  
問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 美濃出 真吾

TEL 06-6534-0708

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	4,058		1,200	13.8	1,175	14.1	798	13.6
2021年3月期第2四半期	4,241	12.4	1,393	22.3	1,367	22.5	923	33.1

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 791百万円 (14.3%) 2021年3月期第2四半期 923百万円 (38.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2022年3月期第2四半期	125.44	121.54
2021年3月期第2四半期	144.31	139.46

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。  
営業収益に影響が生じるため2022年3月期第2四半期の営業収益の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	92,603	12,778	13.7
2021年3月期	91,014	12,184	13.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 12,724百万円 2021年3月期 12,130百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2021年3月期		0.00		31.00	31.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

当社グループは金融商品取引業(外国為替証拠金取引事業)を営んでおり、当社グループの業績は外国為替の為替変動率やマーケット環境に大きく影響を受け、予測を行うことが困難であるため、連結業績予想を開示しておりません。この点を補うために、業績に重要な影響を及ぼす営業収益、顧客口座数、外国為替取引高、顧客預り証拠金について、月次ベースで開示しております。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	6,594,000 株	2021年3月期	6,594,000 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	230,233 株	2021年3月期	230,233 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	6,363,767 株	2021年3月期2Q	6,400,488 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、「3. 2022年3月期の連結業績予想」に記載のとおり、連結業績予想の開示を行っていませんが、この点を補うために、月次ベースでの営業収益、顧客口座数、外国為替取引高、顧客預り証拠金を開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の影響が長期化する中、各種経済施策の効果やワクチン接種が進むこと等により回復が期待されるものの、感染症拡大の長期化の影響が大きく、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした環境のもと、当社グループの関連する外国為替市場におきましては、感染症の再拡大や米国のテーパリング議論、中国恒大集団の債権問題等、一時的な変動要因はあったものの、全体としてボラティリティは緩やかに推移しました。

この様な状況の中、当社グループは、外出自粛やテレワークの拡大及び長期化により顧客のFX取引機会が増加したことを背景に、幅広い顧客の様々なニーズに柔軟に対応できる環境を提供するため、取引ツールのバージョンアップに注力しました。取引ツールの表示方法や機能の変更、追加に留まらず、ニューステロップの表示速度、アラート音の回数設定、文字の色や大きさの設定に至るまで細かなバージョンアップを重ねることで、FX初心者から上級者まで、顧客一人一人の使い方に合った取引環境のカスタマイズを可能にしました。また、PCが使えない環境でも快適に取引できるよう、スマホアプリのバージョンアップにも力を入れて取り組みました。さらに、広告宣伝方法の見直しや多種多様なキャンペーンを毎月実施することで、ボラティリティが低調な中でも、顧客の取引意欲が向上するよう努めました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の顧客口座数は550,109口座（前連結会計期間末比2.2%増）、顧客預り証拠金は67,215,183千円（同2.8%増）となり、当第2四半期連結累計期間の外国為替取引高は3兆1,278億通貨単位（前年同四半期比26.9%増）となりました。

取引高は前年同四半期と比較して増加したものの、FX初心者でも馴染みやすい米ドル/円等の取引高の割合が増加し、収益性の高い通貨ペアの割合が減少したこと等から、当第2四半期連結累計期間の営業収益は4,058,730千円となりました。

また、積極的な広告宣伝活動により販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益は1,200,986千円（前年同四半期比13.8%減）、経常利益は1,175,359千円（同14.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は798,276千円（同13.6%減）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、当第2四半期連結累計期間の営業収益及び営業費用がそれぞれ127,509千円減少しております。よって、当第2四半期連結累計期間における経営成績に関する説明は、営業収益については前第2四半期連結累計期間と比較しての前年同四半期比（%）を記載せずに説明しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,588,656千円増加して、92,603,466千円となりました。これは主に外国為替取引顧客分別金信託の増加3,410,000千円、外国為替取引差入証拠金の増加1,260,165千円等があった一方、現金及び預金の減少2,087,739千円、外国為替取引顧客差金(資産)の減少772,275千円、外国為替取引自己取引差金(資産)の減少197,756千円等があったことにより、流動資産が1,568,898千円増加したことによるものです。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して994,136千円増加して、79,824,870千円となりました。これは主に外国為替取引預り証拠金の増加1,819,554千円、外国為替取引顧客未払金の増加543,347千円、長期借入金の増加500,000千円等があった一方、1年内返済予定の長期借入金の減少1,000,000千円、外国為替取引顧客差金(負債)の減少532,567千円、短期借入金の減少500,000千円等があったことによるものです。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して594,519千円増加して、12,778,596千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の増加により利益剰余金が600,999千円増加したことによるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ2,022,543千円減少し、5,207,329千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により支出した資金は790,127千円（前年同四半期は、3,351,070千円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の増加による収入1,175,429千円その他、外国為替取引顧客差金(資産)の減少による収入772,275千円及び外国為替取引預り証拠金の増加による収入1,819,554千円等があった一方、外国為替取引顧客分別金信託の増加による支出3,410,000千円及び外国為替取引差入証拠金の増加による支出1,260,165千円等があったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は28,632千円（前年同四半期は、282,067千円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出22,226千円及び無形固定資産の取得による支出6,311千円等があったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は1,197,276千円（前年同四半期は、2,427,890千円の支出）となりました。これは主に短期借入金の純減額500,000千円及び長期借入金の純減額500,000千円等があったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは金融商品取引業（外国為替証拠金取引事業）を営んでおり、当社グループの業績は外国為替の為替変動率やマーケット環境に大きく影響を受け、予測を行うことが困難であるため、連結業績予想を開示しておりません。この点を補うために、業績に重要な影響を及ぼす営業収益、顧客口座数、外国為替取引高、顧客預り証拠金について、月次ベースで開示しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,384,871	11,297,131
外国為替取引顧客分別金信託	56,766,110	60,176,110
外国為替取引顧客差金	11,358,360	10,586,084
外国為替取引顧客未収入金	535,433	715,363
外国為替取引差入証拠金	7,863,495	9,123,660
外国為替取引自己取引差金	238,421	40,664
外国為替取引自己取引未収入金	74,299	2,665
貯蔵品	85,449	94,920
未収入金	39,698	22,960
未収還付消費税等	341,293	175,748
前払費用	34,257	50,139
その他	2,874	8,077
貸倒引当金	△7,040	△7,102
流動資産合計	90,717,524	92,286,423
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	91,332	87,373
車両運搬具（純額）	1,228	18,505
器具備品（純額）	17,236	15,473
有形固定資産合計	109,797	121,351
無形固定資産		
ソフトウェア	39,951	48,948
ソフトウェア仮勘定	3,824	—
その他	3,842	3,640
無形固定資産合計	47,618	52,588
投資その他の資産		
長期前払費用	49	153
繰延税金資産	98,463	104,841
差入保証金	29,113	28,654
その他	17,541	13,170
貸倒引当金	△5,299	△3,718
投資その他の資産合計	139,868	143,102
固定資産合計	297,284	317,042
資産合計	91,014,809	92,603,466

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
外国為替取引預り証拠金	65,395,629	67,215,183
外国為替取引顧客差金	1,358,809	826,242
外国為替取引顧客未払金	2,764,708	3,308,056
外国為替取引自己取引差金	30,087	227,368
外国為替取引自己取引未払金	180,539	246,097
短期借入金	6,000,000	5,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	—
未払金	500,018	612,319
未払費用	47,988	46,887
未払法人税等	549,414	409,462
賞与引当金	64,194	122,183
その他	79,413	33,609
流動負債合計	77,970,804	78,547,410
固定負債		
長期借入金	—	500,000
長期未払金	779,254	697,737
退職給付に係る負債	59,945	58,734
資産除去債務	20,729	20,987
固定負債合計	859,928	1,277,459
負債合計	78,830,733	79,824,870
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	980,863	980,863
資本剰余金	542,173	542,173
利益剰余金	10,914,467	11,515,467
自己株式	△321,878	△321,878
株主資本合計	12,115,625	12,716,624
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	14,467	7,987
その他の包括利益累計額合計	14,467	7,987
新株予約権	53,983	53,983
純資産合計	12,184,076	12,778,596
負債純資産合計	91,014,809	92,603,466

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業収益		
外国為替取引損益	4,240,598	4,056,550
その他の営業収益	756	2,179
営業収益合計	4,241,355	4,058,730
営業費用		
販売費及び一般管理費	2,848,217	2,857,743
営業利益	1,393,138	1,200,986
営業外収益		
受取利息	527	392
貸倒引当金戻入額	120	1,580
為替差益	379	—
助成金収入	4,112	724
その他	403	548
営業外収益合計	5,542	3,246
営業外費用		
支払利息	30,492	28,268
支払手数料	471	—
為替差損	—	605
営業外費用合計	30,963	28,873
経常利益	1,367,717	1,175,359
特別利益		
固定資産売却益	—	69
特別利益合計	—	69
特別損失		
固定資産除却損	110	0
特別損失合計	110	0
税金等調整前四半期純利益	1,367,606	1,175,429
法人税、住民税及び事業税	465,186	383,531
法人税等調整額	△21,255	△6,378
法人税等合計	443,930	377,153
四半期純利益	923,676	798,276
親会社株主に帰属する四半期純利益	923,676	798,276



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	923,676	798,276
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	112	△6,479
その他の包括利益合計	112	△6,479
四半期包括利益	923,789	791,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	923,789	791,796

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,367,606	1,175,429
減価償却費	29,150	24,680
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△607	△1,518
賞与引当金の増減額(△は減少)	76,259	57,989
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,814	△1,210
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△81,517
受取利息及び受取配当金	△527	△392
支払利息	30,492	28,268
為替差損益(△は益)	△11	26
固定資産売却益	—	△69
固定資産除却損	110	0
外国為替取引顧客分別金信託の増減額(△は増加)	△3,011,000	△3,410,000
外国為替取引顧客差金(資産)の増減額(△は増加)	2,649,801	772,275
外国為替取引顧客未収入金の増減額(△は増加)	△186,448	△179,930
外国為替取引差入証拠金の増減額(△は増加)	2,114,660	△1,260,165
外国為替取引自己取引差金(資産)の増減額(△は増加)	△442,156	197,756
外国為替取引自己取引未収入金の増減額(△は増加)	△43,625	71,634
貯蔵品の増減額(△は増加)	△53,498	△9,470
未収入金の増減額(△は増加)	16,160	16,736
未収還付消費税等の増減額(△は増加)	77,178	165,544
前払費用の増減額(△は増加)	△18,325	△18,901
外国為替取引預り証拠金の増減額(△は減少)	2,552,145	1,819,554
外国為替取引顧客差金(負債)の増減額(△は減少)	103,387	△532,567
外国為替取引顧客未払金の増減額(△は減少)	△295,752	543,347
外国為替取引自己取引差金(負債)の増減額(△は減少)	△1,016,450	197,280
外国為替取引自己取引未払金の増減額(△は減少)	△175,547	65,558
未払金の増減額(△は減少)	△119,889	99,559
未払費用の増減額(△は減少)	2,672	△1,067
その他	94,793	17,390
小計	3,753,392	△243,778
利息及び配当金の受取額	657	394
利息の支払額	△29,914	△25,281
法人税等の支払額	△373,065	△521,461
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,351,070	△790,127

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,815,000	△6,815,000
定期預金の払戻による収入	6,565,000	6,815,000
有形固定資産の取得による支出	△12,867	△22,226
有形固定資産の売却による収入	—	69
無形固定資産の取得による支出	△19,400	△6,311
長期前払費用の取得による支出	—	△155
その他	199	△9
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△282,067</b>	<b>△28,632</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,000,000	△500,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	—	△1,000,000
株式の発行による収入	66,595	—
自己株式の取得による支出	△295,626	—
配当金の支払額	△198,859	△197,276
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,427,890</b>	<b>△1,197,276</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	124	△6,506
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>641,236</b>	<b>△2,022,543</b>
現金及び現金同等物の期首残高	5,281,349	7,229,873
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>5,922,586</b>	<b>5,207,329</b>

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、顧客に支払われる対価について、従来は、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、営業収益から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益及び営業費用がそれぞれ127,509千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

当社グループの主要な事業である外国為替証拠金取引事業は、すべての取引がインターネットを通じたオンラインによるものであるため、新型コロナウイルス感染症対策の外出自粛等による事業への影響については限定的であります。

そのため、新型コロナウイルス感染症による当社グループの業績に与える影響は軽微、もしくはマイナスの影響は生じないものと仮定し、会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多いことから、将来の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があり、今後の動向を引き続き注視しております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、前連結会計年度から重要な変更はありません。